

第59回 中学生海の絵画コンクール (九州・山口地区)に入選して



《金賞》 「家族団欒」

長崎県佐世保市立 日宇中学校 3年 丸山 結愛さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、金賞という素晴らしい賞を頂くことを大変嬉しく思っています。私がこのコンクールに出品するのは2度目です。昨年は入賞することができず、今年度は3年生に進級し本年度が出品できる最後の年という気持ちもあり、賞を目指して頑張ろうという思いで制作に取りかかりました。船の細かな部分や、水面に反射した風景を写実的に表現するため描写を工夫しました。

顧問の先生や同級生など、私を支えてくださった沢山のみなさんに感謝しています。今回の賞を励みに、より良い作品を描けるよう努力を重ねていきたいです。本当にありがとうございます。

事務局より お知らせ

「第60回中学生海の絵画コンクール」令和5年4月初旬、九州・山口県(西部)の各中学校に募集規定を送付します。ご応募を心よりお待ちしております。



《銀賞》 「大空への憧れ」



長崎県佐世保市立 日宇中学校 3年 大隈 羽七さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銀賞という素晴らしい賞を頂くことを大変嬉しく思っています。このコンクールに出品するのは2度目で、一昨年は佳作という結果に終わりましたが、今年度は3年生の集大成として出品する作品ということもあり、気持ちも込めて制作に取りかかりました。私がこの作品で特に工夫したのは、船と背景の港町の光を強調して船を目立たせたいということです。この作品で銀賞を頂いたことは、顧問の先生のご指導など周りの人達のおかげです。これからも、いい絵を描けるように研鑽します。本当にありがとうございます。



《銀賞》 「神秘的な船」

鹿児島県鹿児島市立 伊敷中学校 2年 田平 新奈さん

今回「中学生海の絵画コンクール」において、この賞を受賞することができたのは、顧問の先生や部活の仲間たちの支えがあったからだと思っています。これからも、この経験を活かし、今の絵よりもより良いものにするためにコツコツと努力を続けていきたいです。本当にありがとうございます。

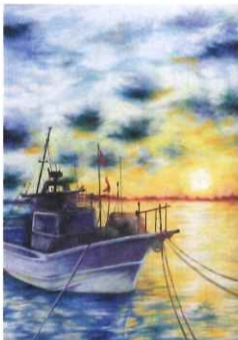


《銀賞》 「漁を終えて」

鹿児島県鹿児島市立 東谷山中学校 2年 平田 陽彩さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銀賞という素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。私は、初めてこのコンクールに出品したので、結果が気になりました。不安になるときもありましたが、銀賞と聞きとても嬉しかったです。この作品は、船がたくさんあり、描き分けるのが大変でした。影や光が当たっている所を船ごとに色を変えたり、タッチを変えたりするなどして、それぞれが引き立つようにしました。また、背景にある桜島は、淡い色で描き遠くにある感じを出しました。白や灰色を使ったりして、白や灰色を難しくかたづけました。

この賞を受賞することができたのは、顧問の先生や部活の仲間たちの支えがあったからだと思っています。これからも、この経験を活かし、今の絵よりもより良いものにするためにコツコツと努力を続けていきたいです。本当にありがとうございます。



《銅賞》 「暁」

福岡県北九州市立 洞北中学校 3年 久保田 凛さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銅賞という素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。私は、毎日頃から、海の豊かな水面の表情や、空の色を映し出し変化させる色彩に心を打たれ、小学生の頃から「海」をモチーフとした作品を描いてきました。このコンクールに出品するのは初めてで、大変緊張しておりましたが、大好きな明け方の海の絵をこのように評価していただき、光栄に思います。



《銅賞》 「私にできること、海のゴミゼロウィーク」

福岡教育大学附属 福岡中学校 3年 三木 悠那さん

中学生になって初めてのコンクールで、素晴らしい賞をいただいたことに大変嬉しく思います。少し前に海へのゴミの投棄問題とこのコンクールの存在を知りました。それを絵にして多くの人に知ってもらい、少しでも環境問題が解決されることを願ってこの絵を描きました。この絵は特に、袋の質感やゴミの様子に注意して描きました。ゴミ拾いをしている人が主人公の存在なので、服の色を目立つ色にするのも意識しました。



《銅賞》 「渦をつくる海」

長崎県佐世保市立 相浦中学校 2年 山本 桃愛さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銅賞という素晴らしい賞をいただき、とてもうれしく思います。このコンクールに出品するのは2度目で、一度目は入賞することができず悔しい思いをしましたが、今年度は賞をとりたという思いで作品の制作に取り組みました。今回の作品で特に苦労したところは海の渦の表現です。濃い部分と薄い部分の微妙な色を、実際に少しも近づくと表現しきれない立体感を出したことが、私の賞を受賞するきっかけになりました。顧問の先生や友達からの励ましや声や指導があったからだと思います。この感謝の気持ちを忘れず、これからも様々な絵に挑戦していきたいです。来年は、もっと上を目指して金賞をとりたいです。今回の反省点を改善し、よりよい絵にしていきたいです。本当にありがとうございます。



《銅賞》 「フェリー来航」

鹿児島県鹿児島市立 紫原中学校 3年 溝内 春日さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銅賞という素晴らしい賞を受賞することができ、大変嬉しく思います。昨年出品した作品は佳作という結果に終わり、上には上がらないものだと身に染みて感じました。この作品は、その悔しさをばねにさらなる高みを目指して挑みました。私がこの作品で工夫したところは、水面に映る船と波紋です。海に明暗をつけるのと、苦勞の部分は筆の先を使つて細かく塗ることを頑張りました。はみ出してしまったり、思うような色にならない時もありましたが、試行錯誤の末、このような結果がいたただける作品に仕上がったときは、とてもうれしかったです。



《銅賞》 「ひと時の休憩」

鹿児島県鹿児島市立 東谷山中学校 3年 新迫 歩さん

この絵を描くときに多用したのが黄緑と紫を混ぜた色です。一年生で美術部に入部したときに、当時三年生だった先輩から影の色を塗るときは黒ではなく緑や紫を使うとよいと教えてもらったところから、この色の良さに気が付きました。色々な絵に陰を付けようとした絵全体に使い始めたところ、主張しすぎず絵に味を出してくれて、こんないい色があるとは、と驚きました。この絵にも全体的に使っています。



《銅賞》 「Cheap Ship Trip」

鹿児島県伊佐市立 大口中央中学校 3年 上玉利 奈央己さん

この度は「中学生海の絵画コンクール」において、銅賞を頂いたことを大変嬉しく思います。私は、中

学生になってから、コンクールでの賞をとったことが無かったため、銅賞をとったことを先生に言われたときは、静かに、大きく興奮しました。今回の作品は、先生からの助言によって、私の短所を隠すことに成功しました。その感覚の体現により、楽しく制作に臨めました。そして、好きな桃色を全体へちりばめることもでき、満足できる作品となりました。しかし、他の入賞者の作品との完成度の差が明確だったので、くやしさを感ずりました。そして、「何倍ものはやさでいい絵が描けるよう努力したい」と思わせる貴重な経験を、今後も活かしていきたいと思いました。今回は本当にありがとうございました。

海事イベント

「宮崎みなとまつり2022」11月5日(土) 宮崎港で新型コロナウイルスの影響があり3年ぶりに「宮崎みなとまつり2022」が開催されました。宮崎運輸支局は海事産業の役割や魅力のPRを行う展示ブースを設置しました。当日は(公財)日本海事広報協会、日本水先人会連合会、(財)海技振興センターよりご提供いただいた各種ノベルティ、水先人パンフレット、九州海事広報協会グッズ等を来場者に配布して、海の大切さや海事産業の役割、海の交通安全などを学んでいただきました。



賑わう宮崎運輸支局展示ブース

九州海事広報協会 ホームページについて

九州海事広報協会 HP (https://kaijiko-ho-kyushu.org/) に活動内容、海の絵画展受賞作品などを掲載していますので、どうぞご覧ください。